



第2号

平成23年5月2日(月)
誉高等学校

(所属学年なし)

中村徹(保体) 犬飼香菜子(養護)

平成22年度末退職教職員(敬称略)

坂元佑佳(英) 迎春香(英) 高木義仁(数) 吉田裕希(養護)

誉高等学校 平成23年度新学期始まる

新学期がスタートしました。4月6日の入学式は大勢の来賓の方々をお迎えし、例年になく華やかな雰囲気の中で挙行され、翌4月7日には1・2・3学年生徒が顔をそろえ、始業式を行いました。

始業式終了後、生徒会入会式を行い、恒例の新1年生と、2・3年生の間での対面式があり、新入生を代表して1年A組の平手元詞くんから、高校生活に大きな夢と希望をもって努力したいとの言葉がありました。これに対して2・3年生を代表して生徒会会長の3年C組武永明美さんからは、誉高等学校の一員としていっしょにがんばりましょうとの先輩としてのあたたかい歓迎の言葉があり、今後の誉高等学校の発展を誓い合いました。1年生の皆さんはこの日の誓いを忘れることなく、これから有意義な高校生活を送っていただきたいと思えます。

平成23年度学校運営体制について

(敬称略、関係分のみ)

校長 相馬弘幸 副校長 佐藤俊孝 教頭 清水英仁 主事 岡村裕之

(一学年)

学年主任	田中 聡(保体)	1年A組	茂山望美(英)
1年B組	田中 聡(保体)	1年C組	石川利和(数)(学年副主任)
1年D組	小川敦生(商)	1年E組	小林淑一(社)
副担任	太田和宏(商・情)	山口 勉(保体)	岡村裕之(社)

(二学年)

学年主任	浅野 勝(理)	2年A組	尾関俊長(数)
2年B組	浅野 勝(理)	2年C組	細江葵(国)
2年D組	児島よしみ(保体)(学年副主任)		
2年E組	新居 壘(社)		
副担任	亀田昭雄(社)	浅井正治(社)	尾崎匠(数)

(三学年)

学年主任	安藤敏雄(社)	3年A組	大橋人雄(英・社)
3年B組	安藤敏雄(社)	3年C組	小川容子(学年副主任)(商)
3年D組	青木利泰(英)		
副担任	太田光彦(数)	磯部正一(保体)	今尾吉宏(国)

校長通信

「当たり前のことができるということ」

この新しい平成23年度を迎え、この1年を充実した年として過ごしたいという思いは、全ての人が思うところです。しかし、実際にその時が過ぎてしまうと、思ったことの10分の1もできない自分があり、がっかりさせられます。

そのできない理由は、「頭の中で考えることと、実際行うことは全く違う」ということにあります。オリンピックで金メダルを取ることを目標に、頑張った選手が出した結論は、「世界で1番になりたかったら、世界で1番多く練習をしなければならない」ということでした。その理論からいくと、クラスで一番の成績をあげたかったら、クラスで1番多く勉強をしなければならないということになります。そこでの才能の差は、あまり大きくないようです。なぜなら、イチローや王選手のような天才と思われる人でも、血のにじむような苦勞がなければ、あのような成績を残せないのです。

それでは、「頭の中で考えることと、実際行うことは全く違う」という大きな壁をどのように打ち破ればいいのか？その答えとして、まず、「当たり前のことを当たり前前にできる」ようにしてみたらどうでしょうか。この当たり前のことのできなくて、プロの選手になるとか、東大に入るとかというようなとても難しい目標に立ち向かえるでしょうか？

当たり前ことは、実は我々の生活の中に隠れています。

①挨拶ができること：朝は、「おはようございます」帰りは、「さようなら」と言いましょ！

②感謝すること：食事の前には、「いただきます」。何かしてもらったら、「ありがとうございました」といいましょ！

③自然のリズムを大切にすること：我々の体に与えられた自然のリズムにそって生活をしましょう。早寝、早起き、朝ごはん！

④人のために働こう：目の前の小さなゴミも、あなたの気持ちだけで拾うことができます！お年寄りや妊婦さんに席を譲ろう！自分がかんばれるのも家族のため、友達のため！

⑤達成したい目標をもとう：サーブのコントロールをつけたい！(テニス)、ギターでスリーフィンガーの演奏テクニックを覚えたい！

こうした、一つ一つの目標を達成していく中で、人は進歩していくように造られています。

さあ、ぼやぼやしていたら大切な1年が、何も達成できないまま過ぎてしまいます。1日1日をがんばることが、生きていくということのあかしになります。「頭の中で考えることと、実際行うことは全く違う」ということを当たり前のことのできるということから突き崩して、いい1年にしてください。